第１７６回 長崎大学ＦＤ実施報告書（平成３０年１１月２７日提出）

１．題　目：LGBT 等の性自認及び性的指向の多様性に関する研修会ならびに意見交換会

２．日　時：　平成３０年１１月２０日（火）１４：３０～１６：３０

３．場　所：学生会館２階　多目的室

４．主　催：ダイバーシティ推進センター

５．対　象：教職員

６．長崎大学ＦＤに関する申合せ第２第１項への該当について【複数選択可】
（該当するものに〇を記入すること）
［　〇　］(1)　教員の教育活動に関するもの
［　　］(2)　カリキュラムの改善に関するもの
［　　］(3)　教育の組織的改善に関するもの
［　　］(4)　入学者選抜方法の改善に関するもの
［　　］(5)　その他教育改善及び入学者選抜の改善に関するもの

７．今回のＦＤの趣旨・意義（６．に関連した形で記述すること）
本学が LGBT 等の性自認及び性的指向の多様性と権利を認識し、偏見と差別をなくすよう、人権保護および啓発活動を行う一環である。教員と職員との意見交換の場を設けることで、LGBT 等の性自認及び性的指向の多様性についてディスカッションし、研究や仕事のダイバーシティに対応した意識改革や教育環境の整備を目指す。.

８．プログラム構成［題目・担当講師］
題目：セクシュアルマイノリティについてまなびませんか
　　ー多様性が彩るキャンパスを目指してー
講師：南　和行　（弁護士：なんもり法律事務所）
14：30～16：00　研修会
16：00～16：30　意見交換会

９．参加者：　２１名

（内訳）

所　　属	人　　数
学生支援部	3
保健・医療推進センター	1
障がい学習支援室	2
大学教育イノベーションセンター	1
病院	4
工学研究科	1
教育学部	1
多文化社会学部	1
医歯薬学総合研究科	1
ダイバーシティ推進センター	6
計	２１

※　別紙に参加者名簿を添付してください。

１０．実施したＦＤの成果等

（１）参加者からの評価（アンケートの集計結果を記述する）

参加者から高評価を得ることができた。（大変良かった 90.5%、良かった 9.5%）

また、多様性を受け入れることが遅れている日本では、性の多様性の理解において阻害要因となっていることや、相手を受け入れることの重要性を学んだなどの意見があった。

（２）総　括（１０（１）を踏まえＦＤ全体の総括を記述する）

LGBT 等の性自認及び性的指向の多様性について認識し、教職員の偏見と差別をなくすことの適切な理解と教育環境の整備の促進につながった。今後、性の問題に限らず、多様性の尊重にもつながるものであり、本学の教職員が教育や研究、業務において自らの能力を発揮できるよう人権保護および啓発活動にも貢献できたと思われる。

（文責：濱野美由紀）

１１．実施代表者の連絡先

部　局：ダイバーシティ推進センター
職　名：　センター長（教授）　　氏　名：伊東　昌子
e-mail：masako@nagasaki-u.ac.jp　　内　線：2383

１２．申請者の連絡先

部　局：ダイバーシティ推進センター
職　名：　助教　　氏　名：劉　楠
e-mail：ryunan@nagasaki-u.ac.jp　　内　線：3151